

講義名	オ)教養特講 (モノの世界)			
担当教員	李 志明			
開講期・曜日・時限	前期 金曜日 3時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考
主題と概要				
<p>世界はモノで作られており、モノの動き(または移動)がないと、私達の衣食住などの生活はできない。世界的に感染症が流行している今、十分なモノが、動らず動き、私達の手に入ることが、いかに重要であるかを体験している。本講義では、モノの動きについて、過去・現在と未来の視点から学修する。</p> <p>世界中の有名な古い建物には大きな石や木材などが使われているが、廢城がなかった当時、大きなモノはどのように運ばれてきたのか。そして、スーパーなどで買えるモノはどの過程を経て私達の手に入るのか。さらには、3Dプリンター、ドローン、ロボットなどを使う時代にモノの世界はどのように変化するのかについて議論していく。</p> <p>この講義は、教養科目として、モノの動きに関する基礎的な内容を説明する。さらに専門科目として学修したい場合、物流やロジスティクスに関する授業を受講する。</p>				
到達目標				
<p>(1)モノの動きの重要性を説明できる。 (2)身近なモノの動きの経路について説明できる。 (3)急変するモノの世界を予測してみる。</p>				
提出課題				
<p>オンデマンド式の授業なので、参加確認と理解度確認のため、小テストを実施する(10回予定)。そのうち、2回は課題学修型として実施する。</p> <p>*小テストの実施日については、講義連絡を必ず確認すること。</p>				
課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック				
<p>小テストの解説と質問や意見にフィードバックする。ただし、やむを得ず欠席した学生に時間を与えるために、基本的には2週間後に行う。</p>				
評価の基準				
<p>・小テスト10回(各10点)、総100点満点で評価する。</p> <p>*学期中に授業方式が変更しても、評価基準は変更なし。</p>				
履修にあたっての注意・助言他				
<p>オンデマンド式であり、Responで小テストを実施するので、IT環境などを確認しておくこと。</p>				

教科書				
・使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
<p>オンデマンド式なので、レジュメは配布しない。 ただし、授業内容によって必要な場合は、適宜配布する。</p>				
授業計画				
<ol style="list-style-type: none"> モノの世界の理解 モノの動きの重要性 コーヒーの動きからみるモノの世界 昔の巨大なモノの世界 課題学修型：文化を運ぶモノの世界 都市の発展とモノの世界 モノの世界における温度管理 モノの世界におけるモノの移動 話題のモノの世界 通信販売におけるモノの世界 人運支援のためのモノの世界 課題学修型：新しい社会におけるモノの世界 Society5.0におけるモノの動き これからのモノの世界 モノの世界の再考案 				
授業形態(アクティブ・ラーニング)				
ア：PBL(課題解決型学習)				イ：反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ：ディスカッション、ディベート				エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション				カ：実習、フィールドワーク
キ：その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)				
準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間				
<p>この授業科目は2単位であるが、2単位に必要な学修総時間は90時間と定められている。内訳は授業で毎回90分、予習・復習で毎回4時間である。授業中に案内する次回の内容についてネットなどを利用して3時間ほど予習しておく。そして授業後の1時間ほど復習する。</p>				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
<p>この授業は、教養科目として、モノに着目し、過去と現在と未来という広い範囲でモノの世界を議論する。この授業を通して、本学のディプロマ・ポリシーである「知識を知恵に転換することができる人材、創造力(新しい視点と豊かな発想)を持った人材、自主・自立の精神を持った人材」に近づけるようになる。</p>				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
<p>Responを利用して質問を受け付け、フィードバックする。</p>				
実務経験の有無及び活用				
<p>実務経験あり。 金融機関での経験と、物流データ分析および物流政策立案の支援の経験がある。民間企業と政府の考え方を伝え、より現実感のある授業を提供する。</p>				
備考				